

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2021年

氏名	荒川 歩	担当科目	法と心理学
学 位			
2007年2月	博士（心理学・同志社大学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1999年3月	同志社大学文学部心理学専攻卒業		
2001年3月	同志社大学大学院文学研究科心理学専攻前期課程 修了		
2004年3月	同志社大学大学院文学研究科心理学専攻後期課程 単位取得退学		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
2004年4月～ 2006年3月	立命館大学衣笠総合研究機構研究支援者		
2006年4月～ 2007年3月	名古屋大学大学院法学研究科研究員		
2007年4月～ 2010年3月	名古屋大学大学院法学研究科特任講師		
2010年4月～ 2013年3月	武蔵野美術大学造形学部専任講師		
2013年4月～ 2019年3月	武蔵野美術大学造形学部准教授		
2019年4月～	武蔵野美術大学造形構想学部教授		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2017年3月	「Q&Aサイトにおける法に関する質問の役割—Yahoo!知恵袋の分析に基づく考察」（法社会学）83号197頁-221頁		
2017年3月	（共訳）『虚偽検出：嘘を見抜く心理学の最前線』（北大路書房）		
2017年10月	（共著）『市民の声が育てる法律家 市民参加型模擬法律相談の試み』（ぎょうせい）		
2018年7月	（分担執筆）唐沢穰・北村英哉（編）『偏見や差別はなぜ起こる？—心理メカニズムの解明と現象の分析』ちとせプレス（pp.221-236）.		
2018年9月	（分担執筆）村田和代（編）『話し合い研究の多様性を考える』，ひつじ書房（pp.53-64）.		
2019年12月	荒川 歩・菅原 郁夫 「裁判員裁判を想定したフォーカスグループの効果の検証」『社会心理学研究』，34，133-141.		
2019年9月	（共編訳）『行動政策学ハンドブック』福村出版		
2019年10月	（共編訳）『その証言、本当ですか？：刑事司法手続きの心理学』勁草書房		
2021年2月	（共編著）『ナッジ・行動インサイト ガイドブック：エビデンスを踏まえた公共政策』勁草書房		
（参考：外部リンク）プロフィールURL			
	http://www.mivurix.sakura.ne.jp/mivurix/		